

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	地域学への招待 (Introduction to Regionology)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	新座とさまざまな地域へのアプローチ		
担当者名 (Instructor)	原田 峻(HARADA SHUN) 阪口 毅(SAKAGUCHI TAKESHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

- (1) 新座市の多様なゲストスピーカーとの対話を通して、新座キャンパス周辺地域への理解・関心を深めること。
- (2) 小川町と東北地方のゲストスピーカーとの対話を通して、地方の抱える課題とその解決について理解・関心を深めること。
- (3) 多様な学問分野の受講生が、関心のある地域について調査を行い、相互に発表・議論を行うことで、それぞれの主体性や調査力を養うこと。

The goals of this course are to

- (1) Deepen understanding and interest in the area around the Niiza Campus through dialogue with various guest speakers in Niiza City.
- (2) Deepen understanding and interest in local issues and their solutions through dialogue with guest speakers in Ogawa Town and the Tohoku region.
- (3) Cultivate the independence and research ability by conducting a survey on the area of interest and making presentations and discussions with students in various academic fields.

授業の内容(Course Contents)

地域学とは、時間と空間のつながりの中で地域がどのように成り立っているかを調べる学びである(山下 2020)。本授業では以下2点の特色のもと、地域学に多角的にアプローチして、教員・受講生が相互に知的刺激を与えあうことを目指す。

(1) ゲストスピーカーとの対話を通じた地域学への招待:

新座キャンパスの位置する新座市について多角的に学ぶため、新座・武蔵野に詳しい歴史研究者、新座市役所の職員、社会活動を行う寺院の住職、高齢者・障がい者支援や地域づくりに取り組む NPO 代表、外国人支援に取り組むボランティア団体の代表を招請する。また、本学が交流してきた埼玉県小川町、本学が復興支援に関わってきた岩手県陸前高田市・福島県双葉町の関係者も招請し、地域社会についての視野を広げる。以上ゲストスピーカー8名と教員・受講生とで対話を行う。

(2) 受講生による地域学の試み:

(1)と並行して、担当教員の助言のもと、受講生に各自が関心を持った地域について調べてもらう。最終的に、担当教員も交えて受講生同士の発表会を行う。

Regionology is the study of how a region is formed in the connection between time and space (Yamashita 2020). Based on the following two characteristics, this course aims to give mutual intellectual stimulation to teachers and students by approaching regional studies from various angles.

(1) Invitation to regional studies through dialogue with guest speakers: To learn about Niiza City, where the Niiza Campus is located, from various angles, historical researcher familiar with Niiza and Musashino, staff of Niiza City Hall, priest of temple engaged in social activities, representative of NPO working on support for the elderly and people with disabilities, and representative of volunteer groups working on support for foreigners. In addition, we will invite people from Ogawa Town, Saitama Prefecture, where we have interacted, and Rikuzentakata City, Iwate Prefecture, and Futaba Town, Fukushima Prefecture, where we have been involved in reconstruction assistance, to broaden our horizons about the local community. The above eight guest speakers will have a dialogue with teachers and students.

(2) Attempt of regional studies by students: In parallel with (1), ask the students to investigate the area in which they are interested, with the advice of the teachers. Finally, a presentation will be held between the students and teachers.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 地域を調査する方法
3. 新座学への招待(1)——ゲストスピーカーとの対話(新座・武蔵野に詳しい歴史研究者)
4. 新座学への招待(2)——ゲストスピーカーとの対話(新座市役所の職員)
5. 新座学への招待(3)——ゲストスピーカーとの対話(社会活動を行う寺院の住職)

6. 新座学への招待(4)——ゲストスピーカーとの対話(高齢者・障がい者支援や地域づくりに取り組む NPO 代表)
7. 新座学への招待(5)——ゲストスピーカーとの対話(外国人支援に取り組むボランティア団体代表)
8. 中間まとめと作業課題の進捗確認
9. 小川学への招待——ゲストスピーカーとの対話(小川町で SDGs や農業に取り組む方)
10. 東北学への招待(1)——ゲストスピーカーとの対話(大船渡市・陸前高田市を中心とする地域新聞の代表取締役)
11. 東北学への招待(2)——ゲストスピーカーとの対話(双葉町社会福祉協議会の元職員)
12. 受講生による地域学の発表(1)
13. 受講生による地域学の発表(2)
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

- ・各回のテーマとゲストの方について、事前に文献やインターネットなどで情報を集めておくこと。
- ・毎回の授業終了時に、リアクションペーパーを提示する。次回授業の前々日 17 時まで Blackboard から提出すること。
- ・第 12,13 回の授業で、担当教員も交えて受講生同士の発表会を行う。発表会に向けて、各自が関心を持った地域について調べて準備を進めておくこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

毎回のリアクションペーパーの提出(30%)/授業内での発表(30%)/最終レポート(Final Report)(40%)

テキスト(Textbooks)

特に指定せず、授業中にプリントを配布する。

参考文献(Readings)

1. 山下祐介、2020、『地域学をはじめよう』、岩波書店 (ISBN:9784005009275)

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

ゲストスピーカーの詳細などは、初回授業時に紹介します。授業では、皆さんからゲストスピーカーの方々への積極的な質問を期待します。なお、ゲストスピーカーのご都合により、登壇順を入れ替える可能性があります。

注意事項(Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。